

多文化共生のための

第22回

国際理解教育・開発教育セミナー

共に生きる地域社会の実現に向けて、
国際理解教育・開発教育の
実践セミナーを開催します。

参加費
無料

2025年

8月4日(月)・5日(火)

対象

国際理解教育・開発教育に
関心のある教職員、
学校関係者、学生、高校生

セミナー
内容

8月4日(月)

13:00 開会のあいさつ
13:05~14:35... 基調講演
15:00~16:30... 分科会 A・B・C

8月5日(火)

13:00~14:30... 分科会 D・E・F
15:00~16:30... 分科会 G・H・I
16:40~17:00... クロージングセッション

開催
場所

JICA関西 〒651-0073
神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2



お申込みフォーム

お申込

締切: 7月23日(水) 16時まで

※基調講演、各分科会の定員に達した場合は個々に締め切ります。

申込先: URL <https://forms.office.com/r/xd7T7XigGY>

または、右上の二次元コードよりお申込みフォームにアクセスいただき、
必要事項をご記入の上、お申込みください。

※二次元コードがご利用にならない場合はメールに ①お名前 ②ふりがな

③お住まい(都道府県・市区町村) ④年代 ⑤属性(教職員・学校関係者・学生・高校生・その他)

⑥所属 ⑦セミナーを知ったきっかけ ⑧参加ご希望の会(基調講演、分科会A~I ※複数会申込可)
をご記入の上、jicaksic-renkei@jica.go.jp(山本) までお送りください。

問合せ: JICA関西 市民参加協力課 担当 山本 加奈子

TEL 090-7180-3718 (平日: 10時~12時、13時~17時)

アクセス



共催

兵庫県教育委員会、神戸市教育委員会、公益財団法人神戸YMCA、
公益財団法人PHD協会、公益財団法人アジア福祉教育財団難民事業本部、
独立行政法人国際協力機構関西センター(JICA関西)



私たちは持続可能な
開発目標(SDGs)を
支援しています

8月4日 月

■ 13:00 ■ 開会のあいさつ ■ 講堂

■ 13:05～14:35〔基調講演〕 ■ 講堂 ■ 定員…100名

神戸大学名誉教授、ボーボキ・ピース・プロジェクト 代表 **ロニー アレキサンダー****阪神・淡路大震災からの30年を振り返って～怖くて足が向かなかった避難所に今ならいける？～**

平和な社会には「多文化共生」が必要？ 多文化の「文化」の意味は？「多文化共生」にはルールや強制力は必要？

誰もが心から「ここで暮らしたい」と思える社会の実現には何が必要でしょうか。

ワークを取り入れながら、阪神・淡路大震災やその後の生活で体感したことをヒントに、平和の視点から「多文化共生」をみんなで解いてみよう。

■ 15:00～16:30〔分科会〕 ■

A 平和、多文化共生神戸大学名誉教授、
ボーボキ・ピース・プロジェクト 代表**ロニー アレキサンダー**

■ 講堂 ■ 定員…50名

**ボーボキ、多文化共生の経って、描ける？
みんなで試してみよう**

平和が大好きなねこ、ボーボキ。お絵かきも物語も新しいアイデアも大好き。多文化共生も好き。でも、平和と多文化共生の関係性についてはまだわからない。その関係性についての考えを、ワークを通して深めてから、ボーボキと一緒に多文化共生の物語を作成します。

B 異文化理解、多文化共生神戸市立横尾小学校 教諭 **山本 正太**
たつの市立半田小学校 教諭 **真島 千明**
京都市立小野小学校 教諭 **廣部 功生**

■ ブリーフィングルーム ■ 定員…32名

**「つながるって楽しいね！」
みんなで学ぶ授業づくりのヒント
～2024年度JICA関西教師海外研修から～**
「つながるって楽しいね！」から「ともに生きる」へ。世界とつながる多文化共生の授業や、防災×開発教育など、ヘルーでの研修を経て行った小学校における実践を紹介します。子ども同士がつながり、そして世界へと広がっていく学びを一緒に考えましょう！**C 国際理解**

神戸市教育委員会学びの推進課 指導主事

中村 寛子、山崎 将

One Worldプログラム講師

内田 ジェニファー

■ セミナールーム31、32 ■ 定員…30名

国際理解、はじめの一步

神戸市教育委員会では、外国人の方を講師に、国際理解の授業「One Worldプログラム」を行っています。子どもたちが、日本と他国との間には「おなじところ」と「ちがうところ」があるのを知り、互いの良さに気づくにはどうすればよいのか。子どもになって参加し、考えてみませんか？

8月5日 火

■ 13:00～14:30〔分科会〕 ■

D 多文化共生兵庫県教育委員会事務局人権教育課
子ども多文化共生センター指導主事**小川 雄太**

■ 講堂 ■ 定員…50名

「豊かに共生する心」を育む

県内の子ども多文化共生教育にかかる現状と課題を理解するとともに、どうすればすべての児童生徒に「豊かに共生する心」を育むことができるのか、2学期の授業実践をふまえて考えます。

E ジェンダーNPO法人開発教育協会(DEAR)
代表理事**佐藤 友紀**

■ セミナールーム31、32 ■ 定員…30名

**自身のバイアスに気づこう
～ジェンダー平等に向かうために～**あなたの所属する学校や組織はジェンダー平等の視点があるでしょうか？ 開発教育協会「教育をジェンダー視点で見直すヒント集」を使い、すべての人が生きやすい社会のために、無意識にある姿勢やふるまいに気づくことから始めましょう。
教材のご案内：https://www.dear.or.jp/book/**F 開発教育**兵庫県立大学環境人間学部
教授**乾 美紀**

■ セミナールーム33、34 ■ 定員…30名

**ラオス少数民族に広がる教育格差を知る
～私たちにできることをみんなで考えよう～**多くの民族が暮らすラオスは多民族国家ならではの教育格差の問題を抱えています。ラオスにおける都市部と農村部の教育格差はどのように広がっているのでしょうか。またその背景にはどのような理由があるのでしょうか？
ワークショップを通して公平な教育とは何かを一緒に考えていきます。

■ 15:00～16:30〔分科会〕 ■

G 国際理解、教育、子どもJICA海外協力隊
ラオス/小学校教育(現職参加)**宇都宮 裕梨**

■ 講堂 ■ 定員…50名

ラオスの学校を知ろう

JICA海外協力隊としてラオスで活躍中の加古川市の小学校教員とオンラインでつなぎ、ラオスの教育事情や、日本での教員経験を生かした協力隊の活動を紹介！ ラオスの教育の具体的な課題や必要な支援について一緒に考えてみませんか？

**H 難民**難民事業本部
関西支部**中尾 秀一**

■ セミナールーム31、32 ■ 定員…30名

難民とはあなたの家族が難民になったらどうしますか。難民とはどのような人で、避難民とはどう違うのか、難民の定義や避難しなければならない原因、難民の身に降りかかる困難について、教室ですぐに使えるシブる手法で考えます。
RHQのホームページ：https://www.rhq.gr.jp/**I 多文化共生**NPO法人多文化センター
まんまるあかし副理事長**櫻江 茂樹**

■ セミナールーム33、34 ■ 定員…36名

**外国ルーツの子どもたちへの
日本語と教科学習支援について**

外国ルーツの子どもたちの日本語学習・教科学習の課題と対応について、まんまるあかしでの支援実績に基づき、その要点を紹介します。また、子どもたちとの意思疎通に使う「やさしい日本語」にも取り組みます。

■ 16:40～17:00〔クロージングセッション〕 ■ ■ 講堂